

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市向陽台児童館
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 29,728人(前年度比 104.3%) 令和5年度 28,494人 令和4年度 26,946人
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 46,356千円(45,460千円) ・ その他市が負担した費用 0千円(0千円)
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円(0千円) ・ その他収入 0千円(0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、地域連携運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	31/31
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、こども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。また、地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
昨年度に引き続き「子どもがまんなか笑顔あふれる児童館」を運営目標に掲げ、更なる事業充実を目指して展開してまいりました。 【児童健全育成事業】児童館まつりでは、夏祭りをテーマに屋台や遊びを企画しました。浴衣を着て遊びに来た子どもたちの姿に、協力いただいた子育て支援クラブや生活学校、親父会の皆様が目細めていました。高学年クラブによるもぐらたたきゲームは一から手作りの力作でした。自分たちで企画製作、運営まで携わり、達成感を感じていました。 【子育て家庭支援事業】昨年度のアンケートでいただいたご意見を取り入れ活動を企画いたしました。特に児童館まつりで実施した「おさがり市」は長年要望のお声が多く、当日は大盛況となりました。おさがり品を児童クラブの保護者が紙袋いっぱいを持参していただき、物を通したつながりが生まれました。 【地域交流事業】日本の文化、伝統行事、地域の自然を知ることテーマに、「地域探検」ではホテルの輝きに驚いたり、「すずめ踊り」では華やかな演舞と生のお囃子に魅了されたりと、貴重な体験をしました。「お茶会」では自ら点てた抹茶の苦さを味わい、「お正月事始め」では臼の重さを感じて餅をつきました。本物の体験が少なくなっている子どもたちですが、地域の皆様から協力をいただき、五感をつかって楽しむことができました。 【放課後健全育成事業】子どもたちが意見を述べ、参加する活動を行いました。食育活動での野菜の栽培ではランキング形式で育てたい野菜を決定したところ、水やりや収穫に率先して取り組む姿がみられました。サテライトのルール見直しや、購入図書の選定にも意見を反映することができました。 次年度から運営団体が変わりますが、これまで培ってきた地域の皆様との協力体制、関係団体との連携を引き継ぎ、これからも児童館の担う児童健全育成、子育て支援のバトンを受け渡します。ありがとうございました。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
児童健全育成事業においては、けん玉教室を講師を招いて定期的に開催し、オリジナル検定を実施する等の工夫を講じた事で、異学年交流が図られるとともに遊びへの意欲を引き出し、できた自信や自己肯定感を育んでいる。また「高学年クラブ」は、児童館まつりのコーナー企画・運営を通して達成感や自己有用感を得る機会となり、地域における高学年の居場所作りと小学生ボランティア育成に繋がっている。 子育て家庭支援事業においては、年齢別の定例行事で乳幼児に豊かな遊びの場を提供するとともに、保護者同士の交流を広げ、地域の子育て家庭を支援している。また運動会やクリスマス会などの行事の他、「サマーテラス」や「ママのリフレッシュタイム」は特に参加者から好評を得ており、地域における情報共有や仲間作りをするための参加者同士の交流の場になっている。 地域交流推進事業においては、親父の会や子育て支援クラブ等、地域の方と連携した協力体制のもと、地域探検やお茶会、お正月事始めなど、様々な体験活動が行われており、子どもが地域と関わりながら育つ環境作りに努めている。その他にも近隣保育所とのすずめ踊りや遊びを通じた交流、ダンス発表のDVDを高齢者施設にプレゼントする等、地域との交流を広げ、子どもの意欲や自主性を育む取り組みを行っている。 放課後児童健全育成事業においては、夏休み前の保護者説明会終了後に、カブラタワーやけん玉など、子ども達の日常の遊びを親子で体験する機会を設けて子どもの姿を保護者と共有し、保護者が安心して子育てと仕事を両立できるように支援している。また高学年児童による子ども会議は、サテライト交流活動の企画・運営の他、サテライトの遊びやルールについて子どもが意見を出し合いながら、主体的に生活できるように支援している。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子ども若者局子ども若者支援部児童クラブ事業推進課